

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、上毛町第2次総合計画に掲げている事業のプロセスや課題などを紹介するものです。今月は、「たくさんの人で輝くまちに向けた取り組み」の特集です。

交流人口の増加に向けて

上毛スマートインターチェンジ周辺は、町内の新鮮野菜を販売する「さわやか市大平」や天然温泉、大衆演劇などが楽しめる「湯の迫温泉大平楽」、自然を満喫できる「ふれあいの里口グハウス」など、町内で最も賑わいのあるエリアです。

このエリアは、平成17年度の合併時に策定した新町建設計画（※1）において、交流レクリエーションゾーンとして位置づけられ、現在町が策定している第2次上毛町総合計画（※2）においても、交流人口増加につながる重要なエリアとして期待されています。

※1 新町建設計画 合併後の上毛町の基盤を形成するための計画です。（平成17年策定）

※2 第2次上毛町総合計画 将来の上毛町をどのような「まち」にしていくのかを、総合的・体系的にまとめた計画です。（平成29年策定）

新町建設計画において、観光の活性化や農産品など流通の広域化を促すため、広域連絡路として強く要請していた東九州自動車道は、平成28年4月24日に全線開通し、上毛パーキングエリアとともに、スマートインターチェンジが設置されたことにより、北九州市や大分市など、近隣都市への移動時間の短縮が図られ、利便性が向上し、多くの方に利用されています。

その反面、国道10号線の交通量は、高速道路の交通量の増加と反比例して減少しており、その影響は、さわやか市大平や道の駅しんよしとみの売上減少に繋がっています。そのため、東九州自動車道の利用者を誘客することが交流人口増加に向けて必要であり、町の玄関口としてスマートインターチェンジ周辺エリアの整備はとて重要になっています。



たくさんの人で輝くまちへ

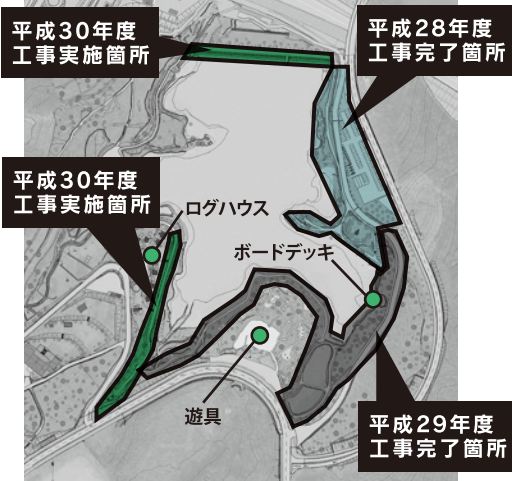
町の新たな「顔」づくり

上毛スマートインターチェンジに隣接する大池公園は、大池を周回する遊歩道と子どもの遊び場として遊具が設置されている自然豊かな公園です。町では、この公園を含めた周辺エリアを町の新たな「顔」と位置づけ、観光拠点づくりを目的とし、公園整備を段階的に行っています。

平成28年度から、第1段階の整備として遊歩道の再整備を開始し、老朽化により危険箇所も多くあつた遊歩道が、バリアフリー化された安全な遊歩道に生まれ変わっています。また、遊歩道に芝桜を植栽し、既存の桜の手入れ、景観を損なう雑木の伐採を行うなど、公園利用者が気持ちよく遊歩道を利用できるように景観にも配慮した整備を行っています。

2018年(平成30年)10月号

2018年(平成30年)10月号



▲平成30年度は、大池堤体部分とログハウス付近の遊歩道の再整備を行います。工事期間中は、公園利用者の方にご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。



▲新しくなったボードデッキは、見晴らしもよくおすすめ場の場所です。



▲遊歩道工事前



▲遊歩道工事後



▼広島市から長崎市約300kmの中間点

※この大池灯籠祭の詳細は表紙及び、14ページをご覧ください。



▲バンコク友好の翼記念植樹

大池公園では、平成27年度から始まった、少年海外体験学習事業「バンコク友好の翼」によるイロハモミジの記念植樹が行われています。この記念植樹は、バンコクのチュラロンコーン大学附属小学校児童が訪日した際に町内小学生との交流を記念して行われているものです。

また、新たな取り組みとして、平成31年8月(予定)に広島市、長崎市両市の被爆樹木の苗を植樹する計画を進めています。

この取り組みは、広島市で活動を行う広島東南ロータリークラブ(RC)が、被爆樹木の記念植樹を計画していたもので、広島市と長崎市の爆心地を直線で結ぶ中間点が上毛町であることから、被爆者でもある広島東南RCの委員長から上毛町での記念植樹の相談があり、町と長崎南RCが賛同したことに始まります。

町長及び両RCは、松井広島市長、田上長崎市長への面会を行い、爆心地の中間点である上毛町に両市の被爆樹木を植樹し、核兵器廃絶と恒久平和に向けた思いを発信するための新たな拠点となることを説明し、賛同を得ました。今後は、平和記念事業実施に向けて、両RCをはじめ関係機関との協議を行う予定です。

大池公園のイベントとしては、秋にこぎ大池灯籠祭、冬にイルミネーション事業が行われています。今年も、10月20日(土)、21日(日)の2日間、こぎ大池灯籠祭が開催されます。ぜひこの機会に、キレイになった遊歩道を歩いてみてください。

目的地化に向けた公園づくり

公園の活用を行う先進自治体においては、公園の空きスペースを活用して、公園の賑わい創出や利用者の利便性の向上を目的に、飲食店や売店等の設置が進められています。

大池公園においても、公園の目的地化を図るため、民間店舗の誘致など、先進事例を参考にしながら検討しています。



▲大池公園に設置されている飲食店(福岡市)

イベントや記念事業としての活用の場